

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	九州大谷短期大学
設置者名	真宗大谷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	仏教学科	夜・通信	4		6	10	7	
	表現学科 演劇放送フィールド	夜・通信			18	25	7	
	表現学科 情報司書フィールド	夜・通信			3	7	7	
	幼児教育学科	夜・通信			25	29	7	
	福祉学科	夜・通信			22	26	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/support/guideline/pdf/2019_sc_09.pdf">http://www.kyushuotani.ac.jp/support/guideline/pdf/2019_sc_09.pdf</a> 。 又、授業要覧を刊行し公表している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大谷大学
設置者名	真宗大谷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[http://www.otani.ac.jp/sinsyu\\_gakuen/nab3mq0000004umn.html](http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq0000004umn.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	真宗大谷学園専務理事	2017/10/24～ 2020/10/23	理事長の命を受け、この法人の業務を掌理する。
非常勤	真宗大谷派参務 真宗大谷学園常務理事	2016/12/19～ 役職期間	専務理事を補佐し、この法人の業務を分掌する。
非常勤	真宗大谷派参務 真宗大谷学園財務理事	2016/12/19～ 役職期間	専務理事を補佐し、この法人の財務を掌理する。
非常勤	真宗大谷派宗議会議長	2017/10/11～ 役職期間	真宗大谷派僧侶を代表して法人運営に参画する。
非常勤	真宗大谷派参議会議長	2018/06/01～ 役職期間	真宗大谷派門徒を代表して法人運営に参画する。
非常勤	社会福祉法人千草会理事長	2017/10/24～ 2020/10/23	社会福祉の専門家の観点から法人運営に参画する。
非常勤	公認会計士	2017/10/24～ 2020/10/23	会計の専門家として法人の公正な事業活動を推進する。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州大谷短期大学
設置者名	真宗大谷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  授業計画(シラバス)については、12月に3ポリシーに基づく編集方針を確認し、次年度科目担当者に作成を依頼している。                  データでの作成を依頼し、1月中に集約したうえで刊行物作成を行う。                  刊行物は年度末に納品し、新年度のオリエンテーション期間に学生に配布している。                  また、PDF化したものを4月下旬を目途にHPに掲載し、公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.kyushuotani.ac.jp/support/guideline/">https:// www.kyushuotani.ac.jp/support/guideline/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)                  成績評価についてはS(90~100) A(80~89) B(70~79) C(60~69)を合格とし、D(59以下)を不合格としている。</p> <p>評価方法は、授業要覧に記載し提示している。(受講時の主体性や定期試験等)                  また、担当教員の主観ではなく、各学生の学習成果に基づき、シラバスに明記した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・登録された成績情報を元に学生ごとのGPAの計算を行なう。
- ・各成績評価は以下のGPで計算を行なう。

評価	GP 値
S : 100-90	4
A : 89-80	3
B : 79-70	2
C : 69-60	1
C : 60 (再試)	1
D : 59 以下	0
失 (受験資格失格)	0
欠 (試験欠席)	0
放 (試験放棄)	0

- ・GPA算出は以下の計算式で行なう。

$$\text{GPA} = (\text{S 評価の単位数} \times 4) + (\text{A 評価の単位数} \times 3) + (\text{B 評価の単位数} \times 2) + (\text{C 評価の単位数} \times 1) / \text{総履修単位数合計}$$

※「振」(単位振替科目)、「認」(単位認定科目)の科目は計算に含めない。また、再履修して修得した科目の不合格時の単位は総履修単位数合計に含めない

やむを得ず履修を取り消す場合は、履修登録変更期間内(前期4月下旬、後期9月下旬)で取り消し可能。その際、取り消した科目は計算に含めない。

「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」により、学科ごとの「成績の分布状況の把握」の確認ができる。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://www.kyushuotani.ac.jp/support/guideline/pdf/5.pdf>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）並びに本学の教育方針に基づき策定し、刊行物の学生要覧並びにWEB上で公表している。</p> <p>これら方針については、毎年見直し点検するPDCAサイクルを行い、更新している。</p> <p>卒業要件については、学則第26条に明記している。 卒業判定については、教授会の議を経て、学長が決定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.kyushuotani.ac.jp/about/diplomat/">https:// www.kyushuotani.ac.jp/about/diplomat//</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	九州大谷短期大学
設置者名	真宗大谷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5c7.pdf">http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5c7.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5cc.pdf">http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5cc.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5c2.pdf">http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5c2.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5ch.pdf">http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5ch.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5cm.pdf">http://www.otani.ac.jp/sinsyu_gakuen/nab3mq000005x586-att/nab3mq000005x5cm.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:九州大谷短期大学グランドデザイン 対象年度:2012~2022)
公表方法: <a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/images/g_design_2019.pdf">www.kyushuotani.ac.jp/images/g_design_2019.pdf</a>
中長期計画(名称:九州大谷短期大学グランドデザイン 対象年度:2012~2022)
公表方法: <a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/images/g_design_2019.pdf">www.kyushuotani.ac.jp/images/g_design_2019.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/about/certification/">http://www.kyushuotani.ac.jp/about/certification/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/about/certification/">http://www.kyushuotani.ac.jp/about/certification/</a>
---

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.kyushuotani.ac.jp/public/pdf/school_regulations2017.pdf">https://www.kyushuotani.ac.jp/public/pdf/school_regulations2017.pdf</a> ) (概要) 本学の目的及び使命については、九州大谷短期大学学則第 1 条に明記。 なお、本学園及び本学の基本理念については学生要覧、WEB 上にて公表している。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.kyushuotani.ac.jp/about/diplomat/">https://www.kyushuotani.ac.jp/about/diplomat/</a> ) (概要) 本学の教育方針並びに各学科における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）について策定し、刊行物の学生要覧並びにWEB 上で公表している。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.kyushuotani.ac.jp/about/curriculum/">https://www.kyushuotani.ac.jp/about/curriculum/</a> ) (概要) 教育課程の編成・実施の方針として、全学の方針に加え、学科毎に教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を作成し、学生要覧並びにWEB 上で公表している。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="https://www.kyushuotani.ac.jp/about/admission/">https://www.kyushuotani.ac.jp/about/admission/</a> ) (概要) 入学者受け入れの方針として、全学の方針に加え、学科毎に入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）作成し、学生要覧並びにWEB 上で公表している。

#### ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.kyushuotani.ac.jp/about/summary/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
仏教学科	—	1人	1人	2人	0人	0人	4人
表現学科	—	2人	1人	1人	0人	0人	4人
幼児教育学科	—	3人	2人	3人	0人	0人	8人
福祉学科	—	3人	1人	3人	0人	0人	7人
基礎	—	3人	0人	1人	0人	0人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			人				1人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/department/teachers/">http://www.kyushuotani.ac.jp/department/teachers/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
仏教学科	10人	10人	100%	20人	21人	105%	欠員の範囲	
表現学科	65人	42人	64%	115人	104人	90%		
幼児教育学科	100人	82人	82%	200人	149人	74%		
福祉学科	20人	8人	40%	55人	18人	32%		
合計	195人	142人	72%	390人	292人	74%		
(備考) 2019年度入学定員変更 表現学科 50名→65名 福祉学科 35名→20名								



b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
仏教学科	9人 (100%)	1人 (11.1%)	6人 (66.7%)	2人 (22.2%)
表現学科	61人 (100%)	0人 (0%)	23人 (37.7%)	38人 (62.3%)
幼児教育学科	83人 (100%)	10人 (12.0%)	66人 (79.5%)	7人 (8.4%)
福祉学科	16人 (100%)	0人 (0%)	12人 (75.0%)	4人 (25.0%)
合計	169人 (100%)	11人 (6.5%)	107人 (63.3%)	51人 (30.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
授業計画（シラバス）については、12月に次年度科目担当者に作成を依頼している。データでの作成を依頼し、1月中に集約したうえで刊行物作成を行う。
刊行物は年度末に納品し、新年度のオリエンテーション期間に学生に配布している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
成績評価についてはS (90~100) A (80~89) B (70~79) C (60~69) を合格とし、D (59 以下) を不合格としている。				
評価方法は、授業要覧に記載し提示している。(受講態度や定期試験等)				
また、評価基準として評価の割合を明記し、学修成果を評価している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	仏教学科	66 単位	有	単位
	表現学科 演劇放送フィールド	66 単位	有	単位
	表現学科 情報司書フィールド	66 単位	有	単位
	幼児教育学科	66 単位	有	単位
	福祉学科	101 単位	有	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <http://www.kyushuotani.ac.jp/center/map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
仏教学科	1 年	640,000 円	200,000 円	312,000 円	施設設備費、課程履修費他
	2 年	640,000 円		312,000 円	施設設備費、課程履修費他
表現学科 演劇放送フィールド	1 年	640,000 円	200,000 円	325,000 円	施設設備費、課程履修費他
	2 年	640,000 円		345,000 円	施設設備費、課程履修費他
表現学科 情報司書フィールド	1 年	640,000 円	200,000 円	307,000 円	施設設備費、課程履修費他
	2 年	640,000 円		314,000 円	施設設備費、課程履修費他
幼児教育学科 幼児教育コース	1 年	640,000 円	200,000 円	308,600 円	施設設備費、実習費、課程履修費他
	2 年	640,000 円		305,500 円	施設設備費、実習費、課程履修費他
幼児教育学科 児童福祉心理コース	1 年	640,000 円	200,000 円	318,600 円	施設設備費、実習費、課程履修費他
	2 年	640,000 円		305,500 円	施設設備費、実習費、課程履修費他
福祉学科	1 年	640,000 円	200,000 円	291,700 円	施設設備費、実習費、課程履修費他
	2 年	640,000 円		325,700 円	施設設備費、実習費、課程履修費他

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 円滑な学生生活を過ごしてもらうため、クラス担当者制度を設け、週1回のクラスの時間を利用し、修学、進路、学生生活の相談業務を行う。また、円滑な学生生活を始めるための入学前ガイダンスを実施する。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) クラス担当者だけでなく、事務室学生支援課に進路係を配置し、進路選択への助言、進路先との情報交換を行う。昼休みに学生食堂を開放し、希望企業による会社説明会を実施し、興味ある学生が面談することで、進路選択の一助になっている。進学希望の学生には、3年次編入の学内推薦試験を実施し、合格者を該当大学に推薦している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 入学時に提出された「健康支援シート」等を参照し、各種相談機関（人権委員会、学生相談室、何でも相談窓口）とクラス担当者、学生支援課で連携し配慮内容を確認、対応している。身体に障がいを持つ学生に対しては、各部署で情報共有し、該当者と面談した上で支援方法を決定し学生支援にあたる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="http://www.kyushuotani.ac.jp/public/">www.kyushuotani.ac.jp/public/</a>
--